

天栄中だより

鈴鹿市立天栄中学校

510-0258 鈴鹿市秋永町 1839

Tel 059-386-0444 Fax 059-386-0445

校長 山中 喜宏

7月に入り、すっきりしない空模様が続き、ジメジメした天気が続いています。中体連の地区大会も悪天候のため延期の競技もあります。延期になった競技に出場するみなさんは、気持ちを切らさずに大会本番がベストの状態になるよう、こころもからだも調整していったほしいと思います。

夏休みまで残りわずか。保護者会で通知表を受け取ったら、あとは夏休みを待つばかりとなりました。しかしながら、1学期はまだ続いています。終業式前までは授業もあります。学校生活に集中するとともに規則正しい生活を送れるように、体調に気を配りながら気持ちを引き締めていきましょう。

先生たちも学び続けます

本校では、昨年度、文部科学省のリーディング DX スクール事業を受け、端末を活用した授業改善に取り組みました。今年度は後継事業である生成 AI パイロット事業の指定を受け、こどもたちが主体的に深い学びが行えるように、継続して授業改善に取り組んでいます。

6月30日(火)には、市内の小中学校に向けた研究発表会を行い、講師の先生をはじめ、来校いただいた他校の先生方から、こどもたちが主体的、対話的で深い学びが行えるよう、授業改善のための指導助言を受けました。



第2回学校運営協議会を開催しました

7月1日(水)、第2回学校運営協議会を開催しました。

今回は、委員の方々に授業参観をしていただき、学校や生徒の様子を知っていただく機会となりました。

委員のみなさんからは、主に次のようなご意見やご感想をいただきました。

- 体育館に空調が整備され気持ちよく学習活動ができていた。
- 授業にまじめに取り組んでいる。落ち着いた学習風景が見られた。
- 教室の前後で一斉授業と自由進度(こどもたち自身が見通しを持って学習を進めていき、進み具合をこどもにゆだねていく)授業を同時に行っていた。一斉で受けるか自由進度で受けるかもこどもたち



が自分自身で選択しているため、先生は両方を見ながら授業を行っていて驚いた。

- （個別最適な学びや自由進度学習を行うにあたり、）ドロップアウトするような生徒や（グループ内で）仲間はずれが出ないように配慮してほしい。

被爆体験記朗読会を実施しました

3年生は、5月の修学旅行で沖縄平和祈念公園に行き、平和学習を行ってきました。

1・2年生については、7月7日(火)に被爆体験記朗読会を実施し、平和学習を行いました。

81年前の昭和20年8月9日、長崎に落とされた原子爆弾で被爆された方の体験を語り継いでいこうと取り組んでみえる「永遠の会」の方を講師としてお招きし、体験記の朗読を聴かせていただきました。

太平洋戦争や原子爆弾のこと、原子爆弾が落とされた時やその後の影響などについて体験記の朗読を聴く中で知ることができました。また、朗読を聴く中で戦争をおこなうことの愚かさや平和な世の中を希求することなどについて、体験された方々の想いを知ることができました。その想いを聴き、平和祈念資料館を訪問したいという感想を持った生徒もいました。

実際に被爆された方々が少なくなっていく中で、体験記朗読会や家族証言者の方々の講演を通じて、戦争や原爆の悲惨さ、平和の尊さを語り継いでいくことの大切さを感じるとともに、平和を希求する気持ちを強く持ち、自分たちに何ができるのか、この朗読会をきっかけに考えていきたいですね。



マナー・ルールを守って

「自転車が並列で道いっぱいに広がって走っていて危ない」、「遊泳禁止の場所で泳いでいて危ない」、「飲食店で大人数で騒いでいて迷惑だ」といった連絡をいただくことがあり、時には厳しいお言葉をいただくこともあります。

みなさんには、交通マナー、水難事故防止等、「自分のいのちは自分で守る」ことや公共の場での過ごし方について「みんなが過ごす場だからこそ、周りの方々へ気配りと思いやりを持って」などの指導を都度していますが一人ひとりが「自分のこと」としてとらえてルールやマナーを守ろうとしているでしょうか？

公共の場でのルールとマナーについて、次のURLを参考にしてください。外国の大人の方むけに書いてありますが、みなさんにも当てはまる部分があると思います。

<参考 URL> <https://entry.dsp-torokushien.com/column/3421/>

保護者のみなさまにおかれましては、各ご家庭にて、「自分のいのちは自分で守る」ことにつながる、交通マナー、海・河川・池など水辺での安全確保について、そして、「みんなが過ごす場だからこそ、周りの方々へ気配りと思いやりを持って」につながる、店舗や公共交通機関内などの公共の場でのマナーについて、お話いただけると幸いです。

また、地域の方々におかれましては、こどもたちに対して、見かけたらその場で「何がいけなかったのか」を分かりやすく説諭し、温かいお声がけをしていただけると幸いです。

